



《灰釉大平鉢》1996年

森のアート展 Vol.19

# 山田和俊

## 寄贈記念展

2023年10月7日[土] - 12月17日[日]

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日（ただし祝日の場合は開館）

会場：豊田市民芸の森（田舎家、管理棟）

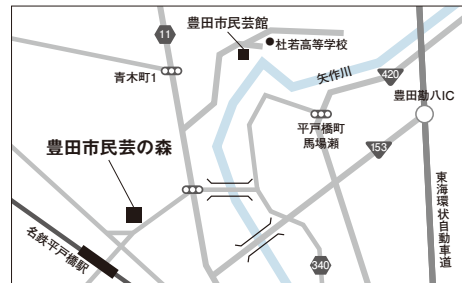
観覧料：無料

山田和俊（やまだ かずとし）／1933年豊田市生まれ。1973年自宅敷地内に「さなげ窯」を建設。猿投山麓の良質の粘土を使用して、この土地独特の焼味をもった焼物を手がける。1976年豊田工芸協会を設立、初代会長に就任。豊田市美術展、愛知県文連美術展、日本民藝館展等に入選。アジア、ヨーロッパ陶磁研究のための渡航多数。2000年イギリス・ダーティントンでバーナード・リーチの長男デヴィッドと二人展開催。1995年豊田芸術選奨受賞。2019年豊田文化賞受賞。2022年市政功労証受領。

豊田市民芸の森 TOYOTASHI-MINGEI-NO-MORI

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町石平60-1 TEL:0565-46-0001

<https://www.mingekan.toyota.aichi.jp/mingeinomori/>



〈電車〉名鉄三河線平戸橋駅より徒歩約5分  
〈お車〉（名古屋方面から）猿投グリーンロード・枝下ICから約10分  
（多治見・岡崎方面から）東海環状自動車道・豊田勘八から約10分

関連事業

記念講演会「山田和俊さんの陶芸の道」

日時：10月7日(土) 14時00分～(40分程度)

講師：八木哲也氏(豊田工芸協会顧問、衆議院議員)

会場：田舎家

定員：15名程度

## ■豊田市民芸の森「森のアート展」とは

猿投窯の発見など古陶磁器の研究や民芸作品の収集、地元芸術家への支援を行った、豊田市名誉市民 本多静雄氏の旧邸宅のあった「豊田市民芸の森」において、彼の意思を次世代へ引き継ぐため、手仕事の素晴らしさを感じ、新たな発見や交流、創造の場となるよう芸術家等の作品を森の屋内外に展示するものです。

平成29年4月からはじまり、豊田市を中心とする東海三県（愛知・岐阜・三重）で活動する作家・団体による展覧会を開催。令和5年度から一部公募にて開催します。



## ■豊田市名誉市民 本多静雄氏

本多静雄は、1898年豊田市生まれ。電気通信事業と科学技術の向上に献身するとともに、古陶磁器の研究に取り組み、猿投窯を発見。民藝運動の創始者柳宗悦との出会いをきっかけに民藝運動に参加。名古屋民藝協会会長や日本民藝協会役員を務め、豊田市民芸館の設立に貢献、多くの民芸品を収集し、豊田市民芸館に寄贈する。



貴重な資料や出土品の収集、研究をはじめ、郷土文化の発展に貢献した功績により、1977年に豊田市名誉市民となる。1987年杉本美術館の初代館長に就任。1999年102歳で永眠。

森の  
アート展